

2007年7月23日

各位

株式会社損害保険ジャパン
損保ジャパンひまわり生命保険株式会社

代理店のパソコンのウイルス感染による情報流出について

今般、株式会社損害保険ジャパン（以下、「損保ジャパン」）および損保ジャパンひまわり生命保険株式会社（以下、「損保ジャパンひまわり生命保険」）が委託している代理店におきまして、お客さま情報等がインターネット上に流出していることが判明いたしましたのでご報告いたします。

このような事態を招き、お客さまおよび関係者の皆さまに多大なご迷惑、ご心配をおかけすることになり、まことに申し訳なく深くお詫び申し上げます。

1. 経緯および流出経路

損保ジャパンおよび損保ジャパンひまわり生命保険が委託している代理店（かなだ事務所 愛知県愛知郡長久手町 代表者：金田安弘）のパソコンがウイルスに感染し、パソコン内のデータがファイル共有ソフト「Winny（ウィニー）」のネットワークに流出したことが、2007年7月18日に確認されたものです。

なお、本件に関してお客さま等の情報が不正に使用された事実は、現時点で確認されておりません。

2. 流出したお客さま情報等の内容

現時点で流出したことが判明している情報は、以下のとおりです。

(1) 損保ジャパンのお客さまの情報

58名分。情報項目は、お客さまのお名前、生年月日、住所（郵便番号含む）、電話番号、保険料、てん補限度額、保険金額、証券番号、職種、保険期間の各項目で、これ以外の情報は含まれておりません。

(2) 損保ジャパンひまわり生命保険の嘱託医の情報（2006年7月時点）

2,932名分。情報項目は、嘱託医の氏名、病院・診療所名、住所・電話番号、往診可否、各種検査の可否、往診時間と休診日で、これ以外の情報は含まれておりません。

3. お客さま等への対応

流出した情報に含まれるお客さまおよび嘱託医の皆さまに対しましては、お詫びの書面を送付し、今般の事故の事情をご説明申し上げますとともに、万一、被害が発生した場合などの連絡先をご案内しています。

4. 再発防止策

損保ジャパンおよび損保ジャパンひまわり生命保険では、本件の発生を重く受け止め、今後同様の事故の再発を防止するために、代理店に対して、ファイル共有ソフトの利用を

しないよう、改めて注意喚起を行なうとともに、パソコンのセキュリティ強化研修の実施や担当する営業担当社員向けの教育など、継続的指導を徹底します。

以 上